

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |               |            |          |
|---------|---------------|------------|----------|
| 事業所番号   | 0771000171    |            |          |
| 法人名     | 株式会社エコ        |            |          |
| 事業所名    | グループホーム天神 1階  |            |          |
| 所在地     | 二本松市杉田町1丁目2-1 |            |          |
| 自己評価作成日 | 令和5年9月1日      | 評価結果市町村受理日 | 令和6年3月8日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/07/index.php>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人福島県福祉サービス振興会           |
| 所在地   | 〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3 |
| 訪問調査日 | 令和5年10月20日                  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

駐車場横の畑にて色々な野菜を作り、収穫時期には利用者様同行にて収穫を行い取れたての野菜を料理し食を楽しんで頂いている。又、野菜作りのアドバイスや畑を耕す時など近隣の方に協力して頂いている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 法人全体で身体拘束廃止・虐待防止に徹底して取り組んでおり、法人の担当職員が常に事業所を訪問し内部研修も計画的に実施している。身体拘束委員会・虐待防止委員会も定期的に開催し、法人職員も出席している。
2. 業者納入のチルド食に変化を持たせるために、副菜に事業所の庭で収穫した野菜や近所の方の差し入れを活用し、味付けご飯へのアレンジ等もしている。また、利用者に出来る範囲で野菜の下処理などを手伝ってもらう他、職員手作りのおやつを提供する等、食を楽しむ取り組みをしている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当する項目に○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                                                         | 自己評価                                                                                      | 外部評価                                                                                                    |                   |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|            |     |                                                                                                                             | 実践状況                                                                                      | 実践状況                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                                                             |                                                                                           |                                                                                                         |                   |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | ホームの理念に地域の一員として利用者様と職員も個人目標を考え達成に向けて努力している。                                               | 理念は、職員会議で意見を出し合って作成し、毎年見直しについて話し合っている。現在も3年前に作成した理念が好評で継続している。毎朝の申し送り時に、法人理念と合わせて唱和し、共有して実践に繋げている。      |                   |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | コロナウイルス禍の時期もあり、地域包括主催の認知症カフェの参加にあまり出席出来なかったのが現状である。地域の地下道清掃に職員が参加している。                    | コロナが収束しない状況なので、町内会の清掃活動への職員参加や認知症カフェへ職員を派遣するなどしている。また、事業所内の畑仕事は地域の方の協力を得ており、野菜の差し入れがある等日常的に交流がある。       |                   |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | コロナウイルス禍の前は、地域包括支援センター主催の認知症カフェに出席し講演を行っていたが、コロナウイルス禍で出来ないのが現状である。                        |                                                                                                         |                   |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている                        | 書面上のやり取りで運営推進会議を行っている。                                                                    | コロナが収束しない為、書面開催を定期的に行っている。委員へ書面配布時にご意見用紙を同封し意見をいただいている。頂いた意見に次回議事録で丁寧に説明し、サービス向上に活かしている。                |                   |  |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                               | 市町村担当者と入居者状況や、コロナウイルス発生状況等の連携を図っている。介護保険等の不明な点があった場合や、困りごとなどがあれば相談出来るよう取り組みを行っている。        | 管理者は介護保険やケアサービスについての相談の他、生活保護受給者の状況報告等に市担当課へ出向いている。また、介護事業所連絡会へ参加する等、顔の見える協力関係を築く取り組みをしている。             |                   |  |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束適正化委員会を設立し定期的に会議を行っている。又、本社職員で身体拘束についての講義を行って頂き職員が「しない」ケアを実践し、利用者様の行動に寄り添う介護支援を行っている。 | 指針に基いて、3カ月に1回委員会を開催している。また、禁止行為を正しく理解する為の研修の他、年3回身体拘束・虐待の芽チェックリストを活用し職員の意識向上に取り組んでいる。なお、玄関の鍵は、日中開錠している。 |                   |  |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                          | 自己評価                                                                                       | 外部評価                                                                                                     |                   |
|----|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                             | 実践状況                                                                                       | 実践状況                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  | 福-1 | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 虐待防止についての研修会に参加し伝達講習を通して職員全員で虐待について学び、周知徹底を図っている。又、職員同士で注意し合える環境が出来ていて虐待防止に努めている。          | 本社の担当課職員が巡回し、身体拘束委員会と虐待防止検討委員会へ出席し、内部研修会を担当している。職員の相談窓口となっており、虐待防止の徹底に取り組んでいる。                           |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在コロナ渦もあり、社内の研修に参加し学んだ事を行っている。成年後見制度が必要な入居者様に関しては、後見人等と連携を図っている。                           |                                                                                                          |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約時は、十分に時間を取り、ご家族様が納得して頂くよう説明を行っている。又解約時は、ご家族様の意向に沿い支援を行っている。                              |                                                                                                          |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | ご家族様訪問時には、利用者様と一緒に意見要望を聞いてケース会議で話し合いを行っている。                                                | 利用者からは、日々のふれあいの中から意見や要望を聞くよう心掛けており、家族からは電話及び来所時に意見を聞いている。頂いた意見は、職員会議で話し合い運営に反映させている。                     |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 月1回職員会議を行い、本社への意見など述べる機会を設けている。                                                            | 日々の会話や朝の申し送り時、職員会議で意見・提案について話し合い、業務に反映させている。また、必要時は、本社へ相談や報告をしている。管理者は、年2回面接を行う等、職員の意見を聞く機会を多く設けている。     |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 資格の有無や個々の力量に応じてた給与体制となっており資格取得が出来る様に社内研修等の整備している。又、状況変化の把握に努めており職員が向上心を持って働けるよう環境整備を行っている。 |                                                                                                          |                   |
| 13 | 福-2 | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | コロナ渦もあり、研修の数が減っているがリモートで研修に参加している。職員が研修に参加しやすいよう調整を行っている。                                  | 職員のスキル向上のため、内・外部研修を受講できるよう勤務体制に配慮している。また、認知症介護基礎研修は、法人負担で全職員が受講できるようeラーニングを活用し、実務者研修は、法人内で外部講師を招き実施している。 |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                            | 外部評価                                                                      |                   |
|----------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                            | 実践状況                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                         |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | コロナ禍以前は、地域包括支援センターと協力して認知症カフェを開き交流を深めていたが、コロナウイルス流行もあり、交流の機会が持ててないのが現実であるが、5類になり徐々に交流の機会を持っている。 |                                                                           |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                                |                                                                                                 |                                                                           |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前に利用者様の不安な気持ちを和らげるよう本人の要望等に丁寧に耳を傾けながら安心して暮らせるような関係作りに努めている。                                   |                                                                           |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居が決まった時から家族様がご本人の意向に尊重し安心して生活して頂けるように話し合いを持って支援している。又、職員は事前に入居者様の情報共有し関係作りに努めている。              |                                                                           |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | ケアマネージャーや計画作成担当者が入居前に、訪問しご本人様やご家族様と面談を行い問題点を見極め生活歴など含め本人様に合ったサービスに努めている。                        |                                                                           |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 利用者様の得意な事、不得意の事、やってみたい事など職員と一緒に出来るよう利用者様の思いを汲み取るよう心掛けている。                                       |                                                                           |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | コロナ禍もあり、面会の制限もあり中々面会が出来なかったが、月1回のお手紙に利用者様の写真を送り近況報告を行っている。又、電話で利用者様と交流の機会を持っている。                |                                                                           |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | コロナ禍もあり、馴染みのある所や、外出の機会が取れてないのが現状である。5類になり徐々に近所の花を見に行くなど行っている。                                   | 毎月写真入りの便りで近況をお知らせする等、家族との関係が途切れない支援に努めている。また、家族が面会時に利用者の愛犬を連れてきてくれ喜ばれている。 |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                                                                      |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 利用者様方同士が思いやりや心配りをしお互い助け合う姿が見受けられる。                               |                                                                                                                                           |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退去されたご家族様とはその場で関係を断つのではなく尋ねて来られたり、連絡が来た際にはこれまでと同じような対応を行っている。    |                                                                                                                                           |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                  |                                                                                                                                           |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 利用者様一人一人の日々の言動から思いや希望を把握し、過ごせる環境を提供出来るよう努めている。                   | 毎日の触れ合いの中から、思いや意向の把握に努めている。散歩や編み物、野菜作り等、出来るだけ希望に沿った支援をしている。また、会話が難しい方の場合には時間をかけてしっかり聴く等、意向に沿うよう取り組んでいる。                                   |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居の際は、ご本人様やご家族様等から生活歴等の情報を集めては馴染みの暮らしの把握に努めている。                  |                                                                                                                                           |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 日々の暮らしの中でいつもと違う様子が見られた際、職員一人一人が利用者様と寄り添い支援を行っている。                |                                                                                                                                           |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネージャーや計画作成担当者が中心となり担当者が聴き取りを行った事など担当者会議で話し合い、即した介護計画作成に努めている。 | 入居時に本人・家族の意向を反映させ、1か月分の介護計画を作成し、その後3か月おきに見直しをしている。ケース会議でモニタリングを行い、家族の意向を確認しながら担当者会議で作成し、面会時あるいは郵送で家族から同意を得ている。また、身体状況に合わせ現状に即した計画を作成している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 業務日誌等で必要な情報を得るように行っている。又、ケース記録に個別の記録を行い日々介護計画に沿った記録を書くよう努めている。   |                                                                                                                                           |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                               | 外部評価                                                                                                        |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                               | 実践状況                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 一人一人のニーズに対して柔軟な支援に取り組んでいる。                         |                                                                                                             |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 職員の中で地域の役員を行っている方がいるので、地域の情報を聴いたり、地域との繋がる一連を行っている。 |                                                                                                             |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 定期的に通院、往診を受け事業所の関係を築いている。                          | 入居時に利用者と家族の意向を把握し、受診支援を行っている。かかりつけ医受診は家族対応で行い必要時には管理者が同席している。看護師や歯科衛生士の訪問と歯科医師の往診など医療受診体制が図られている。           |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 週1回医療連携において気づきや相談を行い適切な医療が受けられる様にしている。             |                                                                                                             |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院の看護師や相談員との情報交換に努め、円滑な対応を取れるように行っている。             |                                                                                                             |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ホームで出来る事を十分説明しながら方針を共有し、よりよい支援が出来るよう取り組んでいる。       | 契約時に利用者と家族に重症化や終末期の対応を説明し、医療連携体制の承諾同意と重症化や終末期の意向確認を行っている。終末期には主治医と家族、管理者等と話し合い意向により転院支援や事業所での看取り介護に取り組んでいる。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 防災訓練にて応急手当や初期対応の訓練を行っている。                          |                                                                                                             |                   |

| 自己                              | 外部   | 項 目                                                                                 | 自己評価                                                                  | 外部評価                                                                                                                      |                   |
|---------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                 |      |                                                                                     | 実践状況                                                                  | 実践状況                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35                              | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている              | 年2回避難訓練を行いホームで起こり得る災害を想定した自主訓練や話し合いを行っている。                            | 年間消防計画に基づき消防署立会いの総合避難訓練や夜間想定訓練を実施している。消防団長が運営推進委員になっており協力を得ている。米・水・缶詰・レトルト食品等を備蓄し、本社が毎月備蓄の点検管理を行い、非常時に備えている。              |                   |
| <b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                     |                                                                       |                                                                                                                           |                   |
| 36                              | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                      | 言葉遣いや態度などを気を付け職員全員が注意し合いながら行っている。                                     | 利用者一人一人の生活歴を把握し、誇りやプライバシーに配慮しながら声かけや対応に心掛けている。職員の気になる言葉遣いや態度についてはその場で注意し合う関係性ができており、職場全体で資質の向上に取り組んでいる。                   |                   |
| 37                              |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                        | 利用者様が自分の意見が言えるよう雰囲気作りやご家族様を相談し聞くように心掛けています。                           |                                                                                                                           |                   |
| 38                              |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 利用者様のやりたい事が出来る生活スタイルに合わせ一日一日を大切に過ごせるよう心がけている。                         |                                                                                                                           |                   |
| 39                              |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | 利用者様の好みのおしゃれが出来るように一緒に服を選び季節感に合った服装が出来るよう支援している。                      |                                                                                                                           |                   |
| 40                              | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている | 食事前のテーブル拭きのお手伝いして頂いている。又、野菜の筋とりなど簡単な作業を行って頂き、楽しく食事が出来るよう会話、見守りを行っている。 | 業者納入のチルド食に加えて差し入れや事業所の畑で採れた野菜を活用して味噌汁と副菜を作り提供している。野菜を洗う音や包丁裁きの音、湯気や匂いなど五感を通して食べる楽しみを支援している。麺やカレーなど利用者の希望を業者に伝え、献立に活かしている。 |                   |
| 41                              |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 利用者様のペースに合わせ食事や水分摂取の声掛けを行っている。                                        |                                                                                                                           |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                                           | 外部評価                                                                                                            |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                      | 実践状況                                                                                           | 実践状況                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 毎食後口腔ケアの声掛け見守りを行い清潔保持を保っているよう支援している。又、定期的に歯科衛生士が訪問し、利用者様の口腔内の状態観察を行って頂いている。場合によって、指導や助言を頂いている。 |                                                                                                                 |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | おやつ時、食事前後など声掛けを行っている。トイレのサインを見逃さず、トイレで排泄が出来るよう支援を行っている。                                        | トイレでの排泄ができるように排泄チェック表を活用し、排便リズムや生活習慣を把握する他、表情や仕草からプライバシーに配慮したトイレ誘導と見守りに取り組んでいる。ヨーグルトをおやつに提供し自然排便を促す工夫も行っている。    |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 排便チェック表を活用し、排泄のタイミングを把握、ヨーグルトやヤクルト(乳酸菌飲料)を摂取して頂いている。                                           |                                                                                                                 |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴チェック表を活用し、利用者様のその時の体調に合わせて入浴の声掛け、支援を行っている。                                                   | 入浴は基本週2回としているが、利用者の状況により対応している。羞恥心に配慮した見守りを工夫し、希望に応じて同性介護を行う等一人一人に応じた支援に努めている。湯舟はその都度、清掃・入れ替えをし清潔に配慮した支援を行っている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 休む時間を設け利用者様の体調を見て休んで頂いている。                                                                     |                                                                                                                 |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 薬の変更があった場合、業務日誌に申し送りとして記入し、薬箱にもメモに記入し、職員全体で服薬時は何度も確認し誤薬防止に努めている。                               |                                                                                                                 |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 利用者様がやりたい事、出来る事を役割を見つけその方の力量に合わせ支援を行っている。                                                      |                                                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                                                | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                        |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                                    | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                                        | コロナ禍もあり、外出の機会がなかなか出来ないのが現状であるが、天気の良い日にホーム玄関で外気浴を行っている。                       | これまで実施していたバスハイクはコロナ禍により行っていないが、天気の良い日に周囲や近所の神社までの散歩や庭の長椅子に座り光や風を感じて過ごす等、身近な場所で心地よく過ごせる支援をしている。              |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                                    | ご家族様の同意を得て、金銭管理を行っているが。又ご家族様と一緒にほしい物など買い物をしている。                              |                                                                                                             |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                                             | 事前にご家族様の承諾を得て、利用者様の要望に応じて電話したり手紙のやり取りができるよう支援を行っている。                         |                                                                                                             |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 湿温度計を設置し、湿度、温度の調整をしている。季節ごとに掲示物を飾り居心地よく過ごせるように工夫をしている。                       | リビングには季節感のある折り紙等作品を飾り、大小のテーブルを配置し、それぞれが心地よく過ごせる工夫をしており、ソファでは気分よく昼寝をする利用者も見受けられる。湿・温度は職員が管理している。             |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                                        | テーブルの配置換えをして利用者様同士が仲良く過ごせるよう支援を行っている。ソファを設置し、ゆっくり出来るよう環境作りを行っている。            |                                                                                                             |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている | 入居時にご家族様に説明を行い、以前生活していた家具や食器など使用して頂いている。自宅で過ごしていた生活空間に近づけるようご家族様の協力を得て行っている。 | 入居時にこれまで使用し馴染みのある家具や寝具の他、湯飲み・箸、場合によっては食器等を持参していただき毎日の食事に使用している。また、思い出の家族写真や手紙、絵カードを飾り、その方らしい居室になるよう配慮されている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                                               | 居室では安全に移動が出来るようベッドの位置や家具、手すり等の設置をしている。共有フロアでも安全に過ごしてもらう為配慮した環境を心がけている。       |                                                                                                             |                   |